

平成24年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

保健福祉部

# 目 次

I	平成24年度保健福祉部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	8
III	歳入歳出決算額	32
1	一般会計決算額	32
	(1) 歳入決算額	32
	(2) 歳出決算額	33
2	特別会計決算額	34
	(1) 歳入決算額	34
	(2) 歳出決算額	34

## I 平成24年度保健福祉部主要施策の成果の概要

### 1 次世代育成支援対策の推進

(医療政策課・健康増進課・こども未来課)

- ① 子どものはぐくみに関する基本理念を明らかにし、県行政のみならず、県民、事業者等が一体となって少子化対策を総合的かつ計画的に推進するため「徳島県子どものはぐくみ条例」を施行した。
- ② 「徳島県次世代育成支援行動計画（徳島はぐくみプラン）」後期計画に基づき、「子どもたちを大切に育み、子育ての喜びを分かち合える徳島」を目指して、「安心こども基金」等の活用により多様な子育て支援を行うなど、次世代育成対策に係る施策を総合的に推進した。
- ③ 休日、夜間の急な小児の疾病に対応するため、小児救急医療拠点病院や輪番病院の運営を支援するとともに、「徳島こども救急電話相談」の円滑な運営を行い、質の高い小児救急医療提供体制の確保を図った。また、総合周産期母子医療センターを中核とする周産期医療体制の整備を推進した。
- ④ 思春期から妊娠・出産・育児期を通じ、一貫した母子保健事業を推進するとともに、引き続き不妊専門相談や不妊治療費助成事業を行った。また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳幼児等の医療費助成の充実を図った。
- ⑤ とくしまの次代を担う子どもたちを安心して育てることのできる環境整備を加速するため、「安心こども基金」を活用し、保育の主要な実施主体である市町村とも連携を図りながら、保育所や放課後児童クラブの整備など、地域の実情を踏まえた子育て環境の重点的な整備促進を行った。
- ⑥ 増加する児童虐待問題に対応するため、こども女性相談センターの体制強化や広報・啓発事業などを実施したほか、虐待の早期発見・早期対応を図るため、関係機関からなる市町村要保護児童対策地域協議会の活動を推進するとともに、県レベルでの要保護児童対策協議会を活用し、関係機関相互の連携強化を図った。
- ⑦ 「徳島県ひとり親家庭等自立促進計画」に基づき、ひとり親家庭が自立し、安心して、いきいきと子育てができる環境づくりに向けて、就業及び生活面における幅広い施策を総合的に推進した。

## 2 豊かな長寿社会の創出

(長寿保険課)

- ① 総合的な高齢者保健福祉施策を推進するため、平成24年度を初年度とする「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（とくしま高齢者いきいきプラン）（2012～2014）」に基づき、適切な施設サービスや在宅サービスの提供体制の整備を図った。
- ② 高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため「徳島県健康福祉祭」に加え、県南部・県西部サテライト大会を開催するとともに、シルバー大学校、シルバー大学院の運営や、関西広域連合内のシルバー大学校等との交流を図った。また、地域活動や社会貢献活動の担い手となって活躍する「生きがいづくり推進員」の活動の活性化を図った。
- ③ 認知症対策を推進し、医療・介護の連携体制を構築するとともに、医療・介護の知識や支援技術の向上により、メンタルケアを含めた総合的な支援体制を充実させた。
- ④ ひとり暮らし高齢者等要援護高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、市町村等が実施する日常的な支え合い体制づくりに係る事業等に対して助成を行った。
- ⑤ 介護保険制度を円滑に施行・運営するため、市町村に対する介護給付費負担金の交付や県介護保険財政安定化基金の運営を行うとともに、低所得者の利用者負担の軽減を図った。また、市町村等で実施する地域支援事業の支援や助言に努め、介護予防等の推進を図った。
- ⑥ 介護サービスの公平で適切な提供を図るため、要介護認定調査員や介護支援専門員等の人材の養成、事業者に対する指導監査の実施により、介護保険制度の適正な運営確保に努めた。

## 3 健康づくりの推進と保健医療サービスの充実

### (1) 保健体制の充実

(保健福祉政策課・健康増進課)

- ① 防災拠点となる保健所庁舎の耐震化を推進するため、美馬保健所の耐震改修工事を行った。
- ② 防災拠点としての機能を強化するため、徳島保健所に非常用電源設備の増設を行った。
- ③ 地域における保健衛生水準の向上や健康危機管理体制の充実を図るため、保健所において調査・研究や専門情報の提供を行うなど、地域保健対策を総合的に推進した。
- ④ 大規模災害発生時に、避難所等に適切な医療・保健・福祉サービスを提供するため、「医療」「薬務」「保健衛生」「介護福祉」各分野の「災害時コーディネーター」の配置替え及び養成を行った。

- ⑤ 県民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できる「健康とくしま」を実現するため、県民総ぐるみによる「健康とくしま運動」の実施や、生活習慣の改善やハイリスク者対策などの生活習慣病対策を総合的かつ効果的に推進するとともに、更なる健康増進をすすめるため、県健康増進計画である「健康徳島21」の改定を行った。
- ⑥ 県民が健康な歯と口腔を保ち、生涯にわたり健康で生き生きと暮らしていくための施策を総合的に推進するため、新たに「徳島県歯科口腔保健推進計画」を策定した。
- ⑦ 感染症の予防対策を推進するとともに、感染症の患者等に対する適切な医療の提供を図った。新型インフルエンザや高病原性鳥インフルエンザについては、関係機関との連携の強化、県民への迅速・的確な情報提供、診療体制の整備などの対応を行った。
- ⑧ 肝炎対策の総合的な推進を図るため、新たに「徳島県肝炎対策推進計画」を策定し、ウイルス性肝炎の検査治療体制の整備に取り組んだ。
- ⑨ 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を市町村に助成し、3ワクチンの接種促進を図った。
- ⑩ 難病患者の生活の質の向上を図るため、医療費を公費負担するとともに、適切な医療の確保及び療養生活の支援等に向けた医療相談・当事者相談等の各種施策を推進した。また、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発に努め、差別や偏見の解消を図った。
- ⑪ 「ひきこもり」等新たな精神的健康問題や「自殺予防に視点をのこしたうつ病対策」の充実を図った。

## (2) 医療体制の強化

(医療政策課・健康増進課)

- ① 「第5次徳島県保健医療計画」に基づき、総合的な対策を実施し、より質の高い医療提供体制の確保を図るとともに、新たに「第6次徳島県保健医療計画」を策定した。
- ② 「徳島県地域医療再生計画」に基づき、県下全域における医療課題の解決に向けて、医療従事者の養成・確保、救急医療体制の充実、災害医療体制の強化、医療機関の高度化・連携強化などの各種施策を実施した。
- ③ 深刻な医師不足に対応するため、高校生から医学生、研修医、中堅医師に至るまで、それぞれのライフステージに応じた医師の養成施策を総合的に展開するとともに、「とくしま医師バンク」をはじめ、地域医療を担う医師のキャリア形成支援などを行う「徳島県地域医療支援センター」の運営を行うなど医師確保対策の推進に努めた。
- ④ 休日・夜間における救急患者及び交通事故等による患者に対して適切な医療を確保するため、救急医療体制の整備・充実に努めた。
- ⑤ 徳島県立中央病院を基地病院として、平成24年10月9日の開院に合わせてドクターヘリの運航を開始した。また、ドクターヘリの運航に必要な事項等を協議するためドクターヘリ運航調整委員会を開催した。

- ⑥ 災害拠点病院等の耐震整備，災害派遣医療チーム（DMAT）の養成及び災害医療コーディネーターの設置等に取り組むとともに，医療関係者に対し情報提供を行うための「広域災害医療情報システム」を運用し，大規模災害時における医療提供体制の確保に努めた。
- ⑦ 「徳島県がん対策推進計画」を改定し，がんの予防や早期発見，がん診療連携拠点病院等の機能強化を通じたがんによる死亡者の減少に取り組むとともに，「徳島県がん対策推進条例」の趣旨に沿い，県・保健医療関係者・県民がそれぞれの役割を果たしながら，一体となって，がん対策を推進した。
- ⑧ 地方独立行政法人徳島県鳴門病院の設立に向け，定款の制定をはじめ，地方独立行政法人法に基づく評価委員会の設置，法人運営の基礎となる中期目標の策定等に取り組むとともに，事業承継に伴う各種手続き等を行った。
- ⑨ 看護職員の確保及び資質の向上を図るため，徳島県立総合看護学校等における養成の充実，看護職員の県内定着促進，離職防止，再就業支援，研修の充実等の対策を推進した。

### (3) 薬務の推進

(薬務課)

- ① 県内で製造される医薬品，医療機器等について，より一層の品質の向上を図ることにより，その有効性，安全性の確保に努めるとともに，医薬品の適正使用を促進した。
- ② 将来にわたって安全性の高い血液製剤を安定供給できる体制をつくるため，特に，若年層を中心とした献血思想の普及啓発に努めるとともに，400mL献血，成分献血をより一層推進した。
- ③ 麻薬・覚醒剤等の薬物に関する正しい知識の普及に努めるとともに，違法ドラッグによる健康被害を未然に防止するため，「徳島県薬物の濫用の防止に関する条例」を制定し，違法ドラッグに対する規制を強化することにより，薬物乱用を許さない社会環境づくりを進めた。
- ④ 毒物劇物の取扱いの適正化を図るとともに，毒物劇物等に関する情報を収集・管理し，適切に情報提供を行った。

### (4) 医療保険制度の充実

(長寿保険課)

- ① 市町村に対し県国民健康保険財政調整交付金を交付するとともに，低所得者層が多い保険者への支援及び高額医療費に対して助成を行い，国民健康保険財政の安定化を図った。
- ② 後期高齢者医療給付費を負担するとともに，後期高齢者医療広域連合が実施する保険料の軽減措置や高額医療費に対して助成を行い，後期高齢者医療制度の運営安定化を図った。

#### 4 障害者の自立と社会参加の促進

(健康増進課・障害福祉課)

- ① 平成24年3月に策定した「徳島県障害者施策基本計画」及び「徳島県障害福祉計画（第3期）」に基づき、適切な施設サービスや在宅サービスが提供できるよう障害者施設等の整備を促進するとともに、障害者自立支援制度の円滑な推進を図るなど、障害者福祉施策を総合的かつ計画的に促進した。
- ② 障害者の活動と交流の拠点として障害者交流プラザを運営し、障害者の自立と社会参加を促進した。
- ③ 障害者福祉施策推進のための広域体制を整備するとともに、障害者支援のための人材育成及び専門分野における支援を行い、障害者の社会参加や就労を促進した。
- ④ 重度心身障害者医療費助成事業を引き続き実施し、障害者の生活を支援した。
- ⑤ 発達障害者及びその家族等に対する支援の拠点として、福祉・教育・医療の関係機関を結集した「発達障害者総合支援ゾーン」に「徳島県発達障害者総合支援センター」を開設し、発達障害者に対して、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備と支援の充実を図った。
- ⑥ 精神障害に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域生活支援事業や地域移行支援事業を実施し、地域生活への移行を推進した。また、自立支援医療の適正化や精神科救急医療体制の整備を促進し、精神医療の充実を図った。
- ⑦ 自立支援医療の適正化を進めるとともに、精神科医療体制を整備するため、新たに精神科救急情報センターを設置し、精神医療の充実を図った。

#### 5 地域福祉の推進

(保健福祉政策課・地域福祉課)

- ① 地域社会の誰でもが、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、生活福祉対策を実施するとともに地域福祉活動を促進した。また、多様化・高度化する介護・福祉ニーズに対応するため、福祉職場への就労斡旋や従事者研修、介護福祉士養成施設等が実施する福祉・介護人材確保対策事業への支援等、より質の高い人材の安定的な確保に努めた。

- ② 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、県民・事業者・行政が、それぞれの役割を積極的に果たすとともに、互いに協力し、一体となってユニバーサルデザインによるまちづくりを推進した。また、身体障害者等用駐車場利用証（パーキングパーミット）を利用対象者に交付するとともに、「とくしまユニバーサルデザインマップ」を作成し、障害者等が安心して外出できるよう、必要な情報の提供に努めた。
- ③ 自殺の防止を図り、健康で生きがいを持って暮らすことが出来る社会の実現を目指し、人材の養成や民間団体との連携など「徳島県自殺者ゼロ作戦」を総合的に展開した。

## 6 人権を尊重する社会づくりの推進

### (1) 人権啓発の推進

(男女参画・人権課)

- ① 県民の人権意識の普及高揚と同和問題をはじめ、女性・子ども・高齢者・障害者などの様々な人権問題の解決に向け、「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権フェスティバルをはじめ新聞・ラジオによる広報などの各種啓発事業等を実施した。
- ② 人権啓発を効率的・効果的に進めるため、市町村や民間団体が実施する創意工夫のある取組を支援し、市町村や民間団体との連携・協力が図られた。
- ③ 人権教育啓発の中心的拠点である人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）を運営するとともに、人権教育啓発事業や人権相談事業等各種事業を実施した。
- ④ 男女共同参画社会の実現に向けて、県民意識の高揚を図るため、「徳島県男女共同参画基本計画(第2次)」に基づく各種施策の推進や、男女共同参画講演会開催などの啓発事業を実施した。また、男女共同参画の総合的な推進拠点であるときわプラザ（男女共同参画交流センター フレアとくしま）において、県民、企業などと協働し、「フレアとくしま100講座」を実施した。
- ⑤ 「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、DV問題の啓発や、被害者に対する相談・支援・一時保護を実施するとともに、関係機関との連携強化や民間団体の活動支援などにより、DV防止対策の推進、並びに被害者の保護及び自立支援の充実に取り組んだ。また、多様化かつ複雑化するDV被害を深刻化させないため、こども女性相談センターの機能強化を図るとともに、若年層への啓発強化やDV相談窓口の広報強化を図った。



## (2) 同和問題の解決に向けた取組の推進

(男女参画・人権課)

- ① 市町が実施する隣保館活動に対して補助を行うとともに、相談機能の強化を図るための研修等を実施するなど、隣保館の機能向上が図られた。
- ② 心理的差別の解消を図るため、同和問題啓発冊子を作成するとともに、同和問題の早期解決を図るための各種啓発事業等を実施した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 次世代育成支援対策の 推進	保育対策等促進費補助金	<p>少子化が進行する中，子育て家庭支援のため「徳島はぐくみプラン」に基づき，多様な保育対策を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 延長保育促進事業</li> <li>2 特定保育事業</li> <li>3 病児・病後児保育事業</li> <li>4 障害児保育環境改善事業</li> </ol> <p style="text-align: right;">(351, 703)</p>
	放課後子どもプラン連携推進事業	<p>放課後児童対策を推進するため，教育分野，福祉分野が連携する「放課後子どもプラン」を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 放課後児童健全育成事業 就労等により昼間家庭に保護者のいない児童に対し，安全な生活の確保と健全育成を図るため，教育分野との連携により放課後児童クラブの運営体制を充実させた。</li> <li>2 放課後児童クラブ室等整備促進事業 教育分野と連携し，既存ストックの有効活用を図るため，余裕教室等の活用による放課後児童クラブ室等の施設整備を促進した。</li> </ol> <p style="text-align: right;">(388, 835)</p>

	次世代育成支援対策推進事業	<p>「子どもたちを大切に育み、子育ての喜びを分かち合える徳島」づくりのため、徳島県次世代育成支援行動計画「徳島はぐくみプラン(後期計画)」の適切な進行管理を行うとともに、次代の親となる若者世代、結婚世代、乳幼児を持つ親世代の各ステージ毎に支援を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 徳島若者未来創造塾</li> <li>2 未来の親はぐくみ事業</li> <li>3 とくしまイクメンプロジェクト</li> <li>4 はぐくみ徳島実行委員会補助金</li> </ol> <p style="text-align: right;">(11, 471)</p>
	保育所整備事業費補助金	<p>希望する全ての人子どもを預けて働くことができるようにするため、保育所の計画的整備を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(170, 023)</p>
	地域子育て創生事業	<p>すべての家庭が安心して子どもを育てることができるような環境を整備するため、地域の実情に応じた創意工夫のある子育て支援活動に関する取組を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(54, 567)</p>
	家族・地域のきずな連携事業	<p>親子がふれあいを深める機会づくりを応援するとともに、県民・事業者・行政が一体となって子育て家庭を応援する社会的機運を醸成するため、地域の協賛店舗等が、子育て家庭に優待サービスを提供する「GO!GO!くっつき隊応援事業」など、子どもと家族のふれあいの機会づくりを促進した。</p> <p style="text-align: right;">(718)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 次世代育成支援対策の 推進	子育て総合支援センター 運営費	<p>地域の子育て機能の総合力を高め、次世代育成支援を推進するため、子育て支援団体のネットワーク形成、子育て支援関係者に対する情報提供、専門的な相談対応等の機能を持つ「子育て総合支援センターみらい」の運営を行った。</p> <p style="text-align: right;">(7,607)</p>
	地域の子育て力アップ事業	<p>地域の子育て力の向上を図るため、子育て支援活動に関する講座の開催や、大規模災害発生時、避難所において、被災した児童へのより適切なケア、保育を行うため、子育て支援者を対象にした研修会の開催等により、子育て応援ボランティアなどの人材育成を行うとともに、「子育て応援の匠」の派遣による活動支援等を実施した。</p> <p>また、孤立した子育て家庭の支援を図るため、家庭訪問型の子育て支援事業を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(3,581)</p>
	“STOP児童虐待”児童相 談所体制強化事業	<p>児童虐待に迅速、適切に対応し、児童の安全の確保、児童虐待の防止を図るため、こども女性相談センターの相談機能等の強化を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 24時間365日体制強化事業</li> <li>2 危機介入援助チーム設置事業</li> <li>3 一時保護所機能強化事業</li> </ol> <p style="text-align: right;">(10,110)</p>

	児童虐待対応強化事業	<p>増加している児童虐待に対応するため、児童虐待防止の広報啓発、こども女性相談センター・市町村の職員等の資質向上及びこども女性相談センターの体制強化のための環境改善を実施するとともに、市町村や関係団体が行う児童虐待防止の取組を支援した。</p> <p>(23, 162)</p>
	ひとり親家庭等医療費助成事業補助金	<p>ひとり親家庭の親及びその扶養する児童並びに父母のない児童の保健の向上及び福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成した。</p> <p>(11, 050)</p>
	ひとり親家庭等まるごと応援事業	<p>ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定を図るため、ひとり親家庭等が抱える多くの複雑な問題に対し、就業及び生活面において幅広く総合的に支援した。</p> <p>(17, 724)</p>
	子育て支援従事者資質向上事業	<p>子育てを社会全体で支える取組を推進し、児童の健全育成を図るため、保育士等、児童福祉に従事する職員の資質向上を図る研修事業等を実施した。</p> <p>(3, 428)</p>
	退所児童家庭フォローアップモデル事業	<p>児童養護施設等を退所した児童及びその家庭に対して継続的なフォローアップを行い、再入所のリスクを軽減するため、児童養護施設等が家庭復帰後の様々な課題解決に向けた手法を調査・研究することを支援した。</p> <p>(10, 000)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 次世代育成支援対策の 推進	里親委託推進・支援等事業	<p>保護を要する子どもの福祉の向上を図るため、子どもと里親のマッチングや里親家庭訪問を行うなど、里親委託の推進と里親家庭の総合的な支援を行った。</p> <p>(1,432)</p>
	地域子育て支援環境創出 交付金	<p>子育てにやさしい住みやすいまちづくりを実現するため、地域における社会資源を活用しながら機動的かつ戦略的な子育て支援施策を包括的に支援した。</p> <p>(43,757)</p>
	小児救急医療総合対策事業	<p>子育てに関する保護者の不安を解消するため、小児救急医療拠点病院及び輪番病院の運営を支援し、また、「小児救急電話相談事業（#8000）」を翌朝8時まで実施するとともに、徳島大学病院に設置した「小児医療支援センター」の運営を行うなど、総合的な小児救急医療体制を構築した。</p> <p>(84,779)</p>
	子どもはぐくみ医療助成費	<p>子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、小学校修了までの入院医療費及び通院医療費に対する助成を行い、乳幼児等の疾病の早期発見と早期治療を促進した。</p> <p>(932,854)</p>

	周産期医療体制確立事業	<p>安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一環として、緊急医療を必要とする母体及び胎児、新生児に対して高度専門的な医療を効果的に提供する周産期医療体制の整備を進めるため、県が指定した総合周産期母子医療センターにおいて、医療施設等に対する情報提供、相談等を行うとともに、情報ネットワーク等の調査・研究を実施した。</p> <p>また、総合周産期母子医療センターNICU等機能強化のための設備整備、NICU専任看護師の養成、地域周産期母子医療センター運営費の補助を行った。</p> <p style="text-align: right;">(125, 312)</p>
	不妊治療費助成事業	<p>次世代育成支援の一環として、不妊治療の経済的負担軽減を図るため、医療保険が適用されず高額となる医療費の一部を負担した。</p> <p style="text-align: right;">(81, 586)</p>
	妊婦健康診査支援費	<p>安心して妊娠・出産ができる体制を確保するため、市町村が実施する妊婦健康診査事業に必要な経費を補助することにより、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図った。</p> <p style="text-align: right;">(148, 393)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 豊かな長寿社会の創出	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	<p>高齢社会を明るく活力のある長寿社会とするため、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、長寿社会について意識啓発等を行った。</p> <p>また、地域活動や社会貢献活動の担い手となって活躍する「生きがいづくり推進員」の活動の支援を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 シルバー大学校，シルバー大学院開講事業</li> <li>2 徳島県健康福祉祭，県南部・県西部サテライト大会開催事業</li> <li>3 全国健康福祉祭選手等派遣</li> <li>4 「健康づくりシニアサポーター」養成事業</li> <li>5 関西広域連合・シルバー大学校等連携事業</li> </ol> <p style="text-align: right;">等 (104, 583)</p>
	いきいきシニア活動促進事業	<p>高齢者ができる限り、要介護状態等になるのを予防するため、地域で介護予防を実践する「介護予防リーダー」の養成及びスキルアップにより、介護予防の推進、普及啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;">(5, 300)</p>
	地域支え合い体制づくり事業	<p>ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるようにするため、市町村等が実施する、日常的な支え合い活動の体制づくりに係る事業等について支援を行った。</p> <p style="text-align: right;">(119, 144)</p>
	介護給付費負担金	<p>介護保険制度施行における、市町村の介護給付及び予防給付に要する費用のうち、県が負担すべき額について拠出した。</p> <p style="text-align: right;">(10, 284, 570)</p>



	介護保険財政安定化基金事業	市町村の介護保険財政の安定を図るため、介護保険財政安定化基金に所要額を積み立てるとともに、介護保険料の上昇の抑制を図るため、市町村等に対し交付を行った。  (382, 161)
	低所得者利用者負担対策事業	介護保険制度を円滑に施行するため、市町村が実施する低所得者負担対策に要する経費に対し補助した。  (7, 142)
	地域支援事業交付金	高齢者の自立した日常生活を支援するため、市町村等が実施する介護予防事業や総合相談事業等の地域支援事業に要する経費に対し、支援を行った。  (166, 827)
	認知症総合支援事業	認知症対策の推進を図るため、医療・介護の連携体制を構築するとともに、「認知症コールセンター」や「認知症疾患医療センター」の設置、認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修を実施した。  (4, 961)
	介護職員処遇改善等臨時特例交付事業	「質の高い介護サービス」の提供を実現するため、介護職員の処遇改善に取り組む事業者に対する支援等を行った。  (255, 401)
	介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業	「介護基盤緊急整備等臨時特例基金」を活用し、グループホーム等の地域の介護ニーズに対応するための施設整備や消防法改正に伴うスプリンクラー設置費用の助成を行った。  (124, 122)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (1) 保健体制の充実	保健所庁舎耐震改修事業	防災拠点となる保健所庁舎の耐震化を推進するため、美馬保健所の耐震改修工事を行った。 (85,001)
	徳島保健所庁舎防災機能強化事業	防災拠点としての機能を強化するため、徳島保健所に非常用電源設備の増設を行った。 (52,082)
	地域保健医療対策推進事業	健康課題の実態を踏まえた地域保健対策の検討や地域保健医療計画の進捗状況の評価を行うなど、地域保健医療福祉対策の推進を図った。 (807)
	災害時コーディネーター養成事業	大規模災害発生時に、避難所等に適切な医療・保健・福祉サービスを提供するため、「医療」「薬務」「保健」「介護」各分野の「災害時コーディネーター」の配置替え及び養成を行った。 (2,411)
	被災地(避難所)等の呼吸器疾患対策事業	津波に巻き込まれた際に起こる「津波肺」などの呼吸器疾患の早期発見・治療を行うため、南部総合県民局の胸部X線検診車のデジタル化を実施した。 (3,902)

	健康危機管理地域連携事業	健康危機管理体制の整備・充実を図るため、関係機関相互の連携のもと、連絡会議や研修・訓練等を実施した。  (1, 489)
	とくしままるごと健康づくり事業	「みんなでつくろう！」をキーワードに、関係機関や県民自身が健康づくりの主役となる環境づくりを目指す「健康とくしま運動」を継続するとともに、「健康とくしま」を実現するため、総合的な生活習慣病対策を実施した。  (5, 047)
	チャレンジ！健康寿命アップ事業	「健康寿命」の延伸を図るため、広く県民から主体的に健康づくりに取り組む「とくしま健康づくりチャレンジャー」を募集するとともに、チャレンジ達成者の中から、地域の健康づくりに貢献できる「健康づくりサポーター」を認定した。  (2, 586)
	みんなが主役！がん撲滅県民運動推進事業	がん対策推進条例の制定を受けて、行政・医療従事者・患者団体等が一体となり、これまでのがん対策を更に強化するため、がん対策に対する県民の理解や関心を高める施策を実施した。  (82, 836)
	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	子宮頸がんや細菌性髄膜炎などの疾病を予防するため、市町村が行う子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業に対して助成を行い、接種を促進した。  (284, 944)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (1) 保健体制の充実	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザの流行時に、健康被害を最小限にするため、県民に対する感染予防の啓発を実施するとともに、徳島県新型インフルエンザ対応マニュアルを改訂し、徳島県新型インフルエンザ研修会を開催した。  (3,788)
	肝炎検診強化モデル事業	B型・C型肝炎ウイルスの未受検者の掘り起こしを行うため、事業所を対象とした出前型検査を無料で実施し、感染者の早期発見・早期治療を促進した。  (295)
	肝炎促進のための環境整備事業	B型・C型肝炎ウイルスに感染しているにもかかわらず、自覚症状がない等の理由により治療を受けていない方を適切な治療に導くため、肝炎に関する知識や検査受検勧奨方法等を身につけた「地域肝炎治療コーディネーター」を育成する。  (300)
	予防検診事業	B型・C型肝炎治療患者の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。  (94,461)
	難病相談・支援事業	難病患者の医療・療養等について当事者ニーズに応えた、よりきめ細やかな支援を充実するため、関係団体との協働事業として当事者相談会等を実施した。  (600)

<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (2) 医療体制の強化	がん診療連携拠点病院機能 強化事業	がん医療水準の均てん化の実現に向け、がん診療連携拠点病院の 機能の充実強化、診療連携体制の確保等を推進し、質の高いがん医 療の提供体制の整備を図った。 (26,500)
	徳島県地域がん診療連携推進 病院機能強化事業	がん診療連携拠点病院がない地域において、これに準じる機能を 有した県内三病院を指定し、その取組を支援することにより県内の がん医療の均てん化や医療連携体制の強化を図った。 (13,500)
	がん対策センター事業	「総合メディカルゾーン」に設置した「がん対策センター」にお いて、県立中央病院と徳島大学病院のがん診療機能連携、在宅のが ん患者に対する緩和ケア、がん患者支援の拠点づくりを推進した。 (10,000)
	地域医療支援機構運営事業	医師の地域偏在及び診療科偏在に対応するため、へき地医療機関 への医師配置等について調整等を行うとともに、医師のキャリア形 成支援等を実施する「徳島県地域医療支援センター」の運営や高校 生や大学生を対象とした体験イベントの実施等、地域医療の提供体 制確保に向けた総合的な取組みを推進した。 (65,199)
	へき地医療拠点病院運営費	地域医療支援機構と連携して、へき地診療所への代替医師を派遣 する等の機能を有するへき地医療拠点病院に対する補助を行い、へ き地医療の確保を図った。 (1,268)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (2) 医療体制の強化	広域災害医療情報システム 運営事業	災害発生時，医療関係者に対し医療提供体制に関する情報を速やかに提供できる，携帯電話をベースとしたシステムを運用した。 (5, 040)
	医療救護所医療資機材整備事業	災害時に初期救急医療体制を確保するため，災害時に市町村が設置する「医療救護所」に必要な医療資機材の整備に対する支援を行った。 (14, 387)
	災害拠点病院等支援事業	大規模災害発生時における医療提供体制を確保するため，災害拠点病院を支援・補完する病院を，新たに「災害医療支援病院」として指定を行うとともに，必要な医療資機材の整備に対する支援を行った。 (27, 000)
	海部病院改築事業	県立海部病院の災害医療拠点機能を維持するため，移転改築に向けた基本設計の取組みを支援した。 (15, 340)
	臓器移植推進事業	円滑な臓器移植を推進するため，引き続き，臓器移植コーディネーターを配置し，医療関係者や県民への普及・啓発や，臓器提供者発生施設と移植実施施設の相互連携の支援等を行った。 (5, 100)

	徳島赤十字病院移転改築資金貸付事業	<p>県南部の中核的医療機関である徳島赤十字病院に対し，建築資金の一部を貸し付けることにより，移転改築後においても地域の拠点となる円滑な医療提供体制が整備された。</p> <p>(866, 658)</p>
	とくしま医師養成対策総合推進事業	<p>将来の本県の地域医療を担う医師を確保するため，徳島大学医学部定員増とあわせた医師修学資金の貸与による地域卒学生の育成や関係機関と連携した臨床研修医の確保対策を推進した。</p> <p>(79, 156)</p>
	医療提供体制確保総合対策事業	<p>本県の地域医療体制を確保するため，地域産婦人科診療部などの寄附講座の設置や，休日・夜間の救急医療を担う救急勤務医等に業務手当支給による処遇改善を実施する医療機関に助成を行うなどの医師確保対策を行うとともに，医療機関の機能強化，連携対策を総合的に行った。</p> <p>(811, 246)</p>
	とくしま医師バンク事業	<p>地域の医療を支える医師を確保するため，「とくしま医師バンク」ホームページによる本県公的病院の求人情報や，県の医師確保に関する情報提供，結婚や育児等で現場を離れた女性医師の再就業支援など，短期的な診療支援体制の構築に取り組んだ。</p> <p>(2, 203)</p>
	救急医療体制確保対策事業	<p>県民に対する救急医療の適正受診等についての啓発や，2次救急医療機関の機能強化など救急医療体制を維持するための各種事業を行うとともに，徳島県立中央病院を基地病院としてドクターヘリの運航を開始した。</p> <p>(280, 428)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (2) 医療体制の強化	医療施設耐震化整備事業	「医療施設耐震化臨時特例基金」を活用し，災害拠点病院等が行う耐震化整備の支援を行い，災害時における医療の確保に努めた。 (193, 000)
	地方独立行政法人徳島県鳴門病院設立準備事業	地方独立行政法人徳島県鳴門病院の設立に向け，情報システムの構築や名称変更に伴う環境整備等を実施し，病院機能・看護専門学校機能の円滑な移行に努めた。 (5, 500)
	看護師等修学資金貸付事業	本県において看護職員の定着促進を図るため，将来県内で働く意思のある看護学生に対し，無利子で修学資金を貸与し，養成施設を卒業した者の県内定着の促進を図った。 (45, 208)
	多機能型訪問看護ステーション設置モデル事業	在宅療養者の生活の質の向上を目指すとともに，家族の休息の確保を図るため，県看護協会が先進的に取り組む在宅療養等を支援できる多機能型訪問看護ステーションの設置を支援した。 (42, 225)
	看護職員資質向上推進事業	医療の高度化，専門化に対応した質の高い看護職員を確保するため，看護学生に対して効果的な実習指導を行うことのできる実習指導者の養成を行った。 (2, 493)



	看護職員確保定着推進事業	<p>看護職員が働きやすく良質な看護活動が行える職場環境づくりを進めることによって、看護職員の離職を防止し、看護職員の確保と定着を図った。</p> <p>(3, 680)</p>
(3) 薬務の推進	薬事監視費	<p>医薬品等の製造及び製造販売業者に対する製造管理及び品質管理基準等の遵守, 各種販売業者に対する適切な医薬品の販売について、監視指導の徹底に努めるとともに、医薬品等の成分の検査・分析体制を整備し、医薬品等の品質, 有効性及び安全性の確保が図られた。</p> <p>(1, 144)</p>
	薬事生産指導事業	<p>医薬品等の迅速かつ適正な承認審査, 関係販売業者に対する適切な医薬品販売のための指導及び県民に対する医薬品の販売制度, 適正使用等についての周知を行った結果, 医薬品等の品質, 有効性及び安全性の確保が図られた。</p> <p>(4, 039)</p>
	薬物乱用対策事業	<p>麻薬・覚醒剤等の乱用による危害を広く県民に周知するとともに、一人一人の意識向上を図るため、街頭キャンペーンや各種集会等での啓発を行った。</p> <p>また、乱用薬物の多様化に伴う若年層への広がりが極めて憂慮すべき事態にあるため、小・中・高校において薬物乱用防止教室を開催し、薬物乱用に関する正しい知識の普及啓発に努めた。</p> <p>さらに、「徳島県薬物の濫用の防止に関する条例」を制定し、違法ドラッグの流通実態に基づき知事指定薬物を指定するなど、薬物乱用対策を強化した。</p> <p>(1, 578)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>3 健康づくりの推進と 保健医療サービスの充実</b> (3) 薬務の推進	献血推進事業	県民，特に若年層を中心として献血思想の一層の普及啓発と400mL献血，成分献血の推進を図った結果，県内で必要な輸血用血液を確保することができた。  (2, 192)
	毒物劇物適正管理指導事業	毒物劇物の製造，輸入，販売業者及び業務上取扱者等に対する監視指導・啓発を実施し，取扱いの適正化を図るとともに，毒物劇物等に関する情報を収集・管理し，適切に情報提供を行った。  (315)
	災害時緊急医薬品備蓄供給事業	地震等の大規模災害発生時に必要となる医薬品，防疫用薬剤等の備蓄を継続するとともに，慢性疾患治療薬の追加備蓄を行った。また，関係機関との連携を図ることにより，迅速な供給体制の整備を行った。  (3, 116)
(4) 医療保険制度の充実	国民健康保険制度基盤安定化推進事業	保険基盤の安定化を図るため，市町村の国民健康保険料(税)の軽減措置や低所得者層が多い保険者の支援制度に対する助成及び高額医療費共同事業に要する経費に対する助成を行った。  (2, 832, 822)
	徳島県国民健康保険財政調整交付金	市町村の国民健康保険財政の安定化を図るため，県内保険者の実情に応じて県財政調整交付金を交付した。  (3, 964, 064)

	特定健康診査費支給事業	市町村及び国民健康保険組合が実施する特定健康診査及び特定保健指導の費用の一部を助成し、円滑な実施を図った。 (110, 725)
	後期高齢者医療費支給事業	高齢者の適正な医療を確保するため、徳島県後期高齢者医療広域連合が行う医療費支給に対し負担金を交付し、後期高齢者医療制度の安定化を図った。 (8, 833, 300)
	後期高齢者医療制度基盤安定化推進事業	後期高齢者医療制度の運営安定化を図るため、徳島県後期高齢者医療広域連合が実施する保険料の軽減措置に対する助成及び高額医療費の発生による広域連合の負担を軽減するための助成を行った。 (2, 173, 952)
	後期高齢者医療財政安定化基金事業	後期高齢者医療制度の財政安定化を図るため、徳島県後期高齢者医療広域連合に交付金を交付するとともに、後期高齢者医療財政安定化基金の適切な管理及び運営に努めた。 (588, 872)
4 障害者の自立と社会参加の促進	障害者交流プラザ管理運営費	障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の活動と交流の拠点となる障害者交流プラザの管理運営業務を指定管理者に行わせた。 (170, 848)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 障害者の自立と社会参加の促進	とくしま発達障害者総合支援事業	<p>発達障害に関する福祉・教育・医療の専門施設を結集した「発達障害者総合支援ゾーン」における基幹施設として「発達障害者総合支援センターハナミズキ」を開設し，発達障害者等に対する相談や総合的支援をゾーン内外の各施設と連携し各種施策を推進した。</p> <p>(14,962)</p>
	重度心身障害者医療助成費	<p>市町村が重度心身障害者医療費助成事業を実施するために要する経費に対して補助金を交付し，重度心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図った。</p> <p>(1,000,322)</p>
	障害児等療育支援事業	<p>在宅の重度心身障害児(者)，知的障害児(者)，身体障害児に関する身近な地域においての療育機能を充実することにより障害児(者)福祉の向上を図った。</p> <p>(9,638)</p>
	地域で暮らすサポート事業	<p>障害者が安心して社会生活を送ることができるように，市町村では実施困難な専門的，広域的な対応が必要な県事業を実施するとともに，市町村事業に対しては補助を行った。</p> <p>(174,248)</p>
	障害者自立支援臨時特別対策事業	<p>障害者自立支援法の円滑な実施を図るため，法施行に伴う激変緩和，新事業体系に直ちに移行できない事業者への経過的な支援及び新法への円滑な移行促進に対応するため，障害者自立支援対策臨時特例基金を活用し，障害者及び障害児が自立した日常生活を営むことができるよう，各種支援策を実施した。</p> <p>(346,975)</p>

	<p>みんながつながる“あわのわ”障害者就労飛躍事業</p>	<p>障害者の就労意欲を高め自立を促進するため、福祉施設で働く障害者の工賃アップを目的に授産製品のブランド化事業、一般就労への支援事業及び“働きたい！”応援事業を実施した。 また、特別事業として「共同受注窓口整備事業」等を実施した。 (25,400)</p>
	<p>あさひ学園児童育み支援事業</p>	<p>平成24年度から民営化した「県立あさひ学園」について、入所児童の急激な処遇の変化を避けるために必要となる児童支援職員の人件費の一部を助成した。 (7,323)</p>
	<p>精神医療あんしん整備事業</p>	<p>夜間・休日等に緊急な精神科医療が必要となった在宅の精神障害者に対応するため、精神科救急情報センターの設置、身体合併症医療の確保、精神科病院の輪番制による精神科救急の確保等で、救急体制を整備した。 また、入院に頼らない治療を実現するため、多職種で構成されたチームが精神障害者に対し、包括的な支援を行い、地域生活が維持できるような支援方策を検討する「精神障害者アウトリーチ推進モデル事業」を実施した。 (80,049)</p>
	<p>精神障害者地域移行支援事業</p>	<p>症状が安定し、受入条件が整えば退院可能な精神障害者を対象に、退院のための訓練等を実施し、地域生活への円滑な移行を支援した。 平成24年度からは、精神科病院に入院している概ね60歳以上の長期高齢入院患者に対し、病院内の多職種と地域の関係者がチームとなり、退院に向けた包括的な支援プログラムを実施し、退院支援を行った。 (1,148)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 障害者の自立と社会参加の促進	ひきこもり対策推進事業	<p>ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の推進を図るため、「ひきこもり地域支援センター」において、相談・指導を実施する等、ひきこもりに対する支援を行う。</p> <p>また、ひきこもり本人や家族への支援を一層充実させるため、効果的な家庭支援プログラムを開発するとともに、その効果を検証し、普及啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;">(7, 778)</p>
5 地域福祉の推進	生活福祉等対策費	<p>現下の厳しい雇用失業情勢の中、低所得者、失業者等に対するセーフティネット施策として、生活福祉資金貸付事業や住宅手当緊急特別措置事業等を実施することにより、「生活・就労・住宅」等に関する支援を行った。</p> <p>また、高齢又は障害を有する等、福祉的な支援を必要とする刑務所等出所予定者の社会復帰を支援し、再犯防止対策に資するため、平成23年度に設置した「地域生活定着支援センター」において、保護観察所と連携しながら、福祉サービス利用調整等、出所者への社会復帰支援を行った。</p> <p style="text-align: right;">(399, 966)</p>
	福祉・介護人材確保対策事業	<p>福祉・介護分野への人材の定着と参入を促進するため、潜在的有資格者の再就業に向けた研修をはじめとして、個々の求職者にふさわしい職場開拓や、働きやすい職場づくり、さらには介護職員のキャリアアップ及び資質の向上等に向けた取組を総合的に支援した。</p> <p style="text-align: right;">(69, 911)</p>

	ユニバーサルデザインによるまちづくり推進事業	<p>地域に暮らすすべての人が住みやすい社会となるよう、県民・事業者・行政が連携しながらそれぞれの自主的な取組を促進するため、情報提供、整備資金の協調融資等を実施し、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進した。また、歩行困難者である障害者・妊産婦等へ身体障害者等用駐車場利用証(パーキングパーミット)を交付し、当該駐車場の適正利用を推進するとともに、「とくしまユニバーサルデザインマップ」を作成し、障害者等が安心して外出できるよう、必要な情報の提供に努めた。</p> <p>(15,807)</p>
	日常生活自立支援事業	<p>認知症の高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方々が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行等の支援を行った。</p> <p>(53,548)</p>
	運営適正化委員会設置運営事業	<p>福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者からの苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図った。</p> <p>(7,999)</p>
	自殺総合対策事業	<p>自殺の防止を図り、健康で生きがいを持って暮らすことが出来る社会の実現を目指し、人材の養成や民間団体との連携などを推進した。</p> <p>(93,788)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
<b>6 人権を尊重する社会づくりの推進</b> (1) 人権啓発の推進	人権教育・啓発総合調整事業	「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、啓発テキストの作成、同和問題をはじめ広く人権全般についての各種啓発事業等を実施した。 (34,549)
	みんなが主役の人権啓発推進事業	県内のNPOなどの民間団体が企画し自主的に行う取組で、県民一人ひとりに人権尊重の理念についての理解が定着するような事業を募集し、推進した。 (5,053)
	「みんなにとどけ！あったかハート」人権推進事業	各圏域を構成する市町村と県との協働事業として、住民参加型の講演会等を開催し、県民一人ひとりの心の人権尊重の理念が届くような啓発事業を実施した。 (905)
	人権教育啓発推進センター運営費	人権教育啓発推進の中心的拠点である人権教育啓発推進センター(あいぼーと徳島)を運営するとともに、人権教育啓発や人権相談等各種事業を実施した。 (80,222)
	男女共同参画基本計画普及・啓発事業	県民に男女共同参画を理解してもらうため、平成24年3月に策定した「徳島県男女共同参画基本計画(第2次)」に基づき、啓発用資料等を作成・配布する等、積極的に広報・啓発を行った。 (756)



	男女共同参画交流センター運営事業	<p>県民の男女共同参画の活動を支え、交流や情報の受発信を活発化するため、ときわプラザ(男女共同参画交流センター フレアとくしま)の運営を行った。</p> <p>(44, 357)</p>
	フレアとくしま100講座開催事業	<p>男女共同参画社会の実現を目指し、県民の理解と認識を深めるため、ときわプラザ(男女共同参画交流センター フレアとくしま)において、県民や企業と協働し、各種講座を開催した。</p> <p>(1, 808)</p>
	DV被害者自立支援事業	<p>配偶者からの暴力防止と被害者の自立支援の充実を図るため、関係機関との連携強化や民間団体の活動支援などを実施するとともに、こども女性相談センターの機能強化や、若年層への啓発強化及び相談窓口の広報強化を行った。</p> <p>(9, 340)</p>
(2) 同和問題解決に向けた取組の推進	隣保館運営費	<p>市町が実施する住民の各種相談事業・近隣地域との交流事業等の隣保館活動に対し助成を行った。</p> <p>(278, 137)</p>
	いきいき隣保館支援事業	<p>隣保館の相談機能の強化と交流の拠点としての機能を充実するため、レベルアップ研修等を実施した。</p> <p>(2, 252)</p>

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較	
保健福祉政策課	121,822,000	109,715,260	109,715,260	0	0	△12,106,740	
男女参画・人権課	260,922,000	260,774,194	260,774,194	0	0	△147,806	
医 療 政 策 課	7,236,878,000	6,832,794,053	6,829,496,740	0	3,297,313	△407,381,260	
健 康 増 進 課	2,541,302,000	2,555,837,936	2,555,837,936	0	0	14,535,936	
長 寿 保 険 課	3,401,554,000	3,335,984,892	3,332,806,038	0	3,178,854	△68,747,962	
薬 務 課	32,521,000	35,534,689	35,534,689	0	0	3,013,689	
福 祉 局 こ ども 社 局	地 域 福 祉 課	5,000,831,000	5,039,280,070	4,853,258,143	5,462,027	180,559,900	△147,572,857
	こ ども 未 来 課	4,133,720,000	4,135,206,224	4,098,995,391	3,877,060	32,333,773	△34,724,609
	障 害 福 祉 課	1,372,802,000	1,334,725,818	1,321,538,192	0	13,187,626	△51,263,808
計	24,102,352,000	23,639,853,136	23,397,956,583	9,339,087	232,557,466	△704,395,417	

## (2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較	
保健福祉政策課	2,030,079,889	1,976,658,542	0	53,421,347	53,421,347	
男女参画・人権課	709,403,000	687,240,493	0	22,162,507	22,162,507	
医療政策課	11,134,906,000	10,702,988,630	0	431,917,370	431,917,370	
健康増進課	5,757,914,271	5,451,873,022	0	306,041,249	306,041,249	
長寿保険課	33,293,806,111	32,841,233,399	52,200,000	400,372,712	452,572,712	
薬務課	116,889,729	111,364,697	0	5,525,032	5,525,032	
福 祉 局 こ ども	地域福祉課	7,234,490,000	6,881,936,004	0	352,553,996	352,553,996
	こども未来課	9,598,808,254	8,813,524,155	632,008,000	153,276,099	785,284,099
	障害福祉課	7,253,451,746	6,650,361,701	272,529,000	330,561,045	603,090,045
計	77,129,749,000	74,117,180,643	956,737,000	2,055,831,357	3,012,568,357	

## 2 特別会計決算額

### (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
こども未来課	母子寡婦福祉 資金貸付金 特別会計	160,250,000	535,636,376	344,918,980	847,335	189,870,061	184,668,980
	計	160,250,000	535,636,376	344,918,980	847,335	189,870,061	184,668,980

### (2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
こども未来課	母子寡婦福祉 資金貸付金 特別会計	160,250,000	105,195,426	0	55,054,574	55,054,574
	計	160,250,000	105,195,426	0	55,054,574	55,054,574

